

11月・12月の管理ポイント

平成26年11月7日



株式会社 トモグリーンケミカル

9、10月は天候に恵まれた地域が多く、北日本日本海側の9月の日照時間は平年比122%を記録したとのことです。一方、西日本の日照時間は平年並みで8月の日照不足を補いきれなかった恐れがあります。冬前にグリーンのコンディションを万全にするためにも、晴れ間が少なかった地域では資材での糖類補給もお勧めします。

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第132号



グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい季節です。

曇天が続く日は、光合成が不十分で、折角の施肥が完全にエネルギーにかえられません。

グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。

貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が増強され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。

使用量：5~10ml/m² 1%以上散布



プライマーセレクト

強風によるグリーン表面の乾燥に...

強風による乾燥の厳しい11月は、油断するとすぐにグリーン表面が乾燥しすぎてしまいます。

プライマーセレクトを処理することによって、均一な水分分布を目指し、乾燥害からグリーンを守りましょう。

使用量：1~2ml/m² 200ml~1L/m²散布 散布回数 1ヶ月~1ヶ月半に1回



サッチ・マネージャー

サッチ層の除去には...

本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌(野生株)を選抜した微生物資材です。16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されており、様々な土壌環境にも適用できるように配合されています。製剤1g当たり約400億個の菌が配合されており、土壌中でも安定した効果が期待できます。

低価格に設定されておりますので、ラフ、FWなどの大面積散布にもご利用して頂けます。

使用量：ラフ・FW 0.1~0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量0.2~0.5l/m²



カラーメイトF-20

リーズナブルな価格で!!

カラーメイトF-20は、従来の着色剤に比べ季節感を重視した自然な色調(ダークグリーン)で、落ち着きのある風合いに仕上がります。物理性(固着性、速乾性、色持ち、色乗りetc)や安全性にも優れ、**お求めやすい価格設定**なので、フェアウェイなど広範囲でご使用いただける自信作です。

使用量：50~100倍 100~200ml/m²散布



リーフシールド

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。

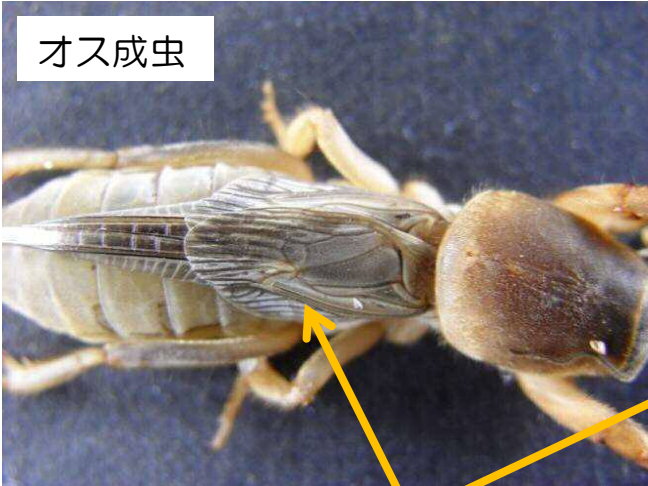
使用量：200倍 150~200ml/m²散布

ケラの飼育写真

10月22日、23日の2日間、(一財)関西グリーン研究所、(一社)関西ゴルフ連盟共催の第38回芝地用管理機械・資材総合展示会にブースを出展させて頂きました。今回は、ブース内で展示した資料の中でも、お客様の関心が高かったケラについての資料をご紹介します。

その1～ケラの雌雄～

オス成虫



メス成虫



ケラの成虫は、**前翅の翅脈の形態でオスとメスを見分ける**ことができます。オスは左の写真のような不均一な形をしており、メスは右のような均一な形をしています。

その2～ケラの卵～



↑ケラは土中に卵室という部屋を作り、その中に数十個の卵を産みます。写真はミズゴケに作られた卵室です。



↑ 孵化直前の卵と孵化した仔虫

その3～脱皮したケラ～



↑飼育中、脱皮直後の真っ白なケラを発見したので撮影しました。後翅もまだ伸びきっておらず、丸まっています。



↑ 脱皮後の皮と仔虫